

ユニバーサルデザインの状況調査

〇〇〇〇センター ◇◇◇棟

I 敷地内通路・駐車場

番号	調査項目	チェック	適合状況
1	公平		
(1)	主たる出入口まで連続性のある誘導により、誰もが安全に建築物の受付等に到達できる。		0 / 4
(2)	通路には段差がない。構造上段差が生じる場合は、段のある近くにスロープ等が併設されている。		
(3)	車いす使用者が利用できる障害者用駐車スペースを設けている。また、いつでも駐車できるように複数設けている。		
(4)	敷地の出入口付近には、インターホン、音声や文字情報などを組み合わせた案内装置を設けている。		
2	簡単		
(1)	出入口やそこに至る経路は、サインが確認しやすく、見通しのよい空間となっている。		0 / 2
(2)	音声音響案内は、音声はどこから発生されているかが分かり、かつ、はっきり聞き取れる。		
3	安全		
(1)	人と車の動線が交わらないよう通路は車路と分離している。やむを得ず分離していない場合、駐車場は見通しがよいものとなっている。		4
(2)	傾斜路は雨に濡れても滑りにくい仕上げとなっている。		
(3)	階段や傾斜路には手すりを設け、視覚障害者誘導用ブロック（警告用）を設けている。		
(4)	通路にある排水溝等の蓋は、路面との段差がなく、スリット等は、ベビーカーや車いすのキャスター、杖先が落ちないつくりとなっている。		
4	機能		
(1)	歩行者用の経路は、建築物の出入口まで必要以上に遠回りとなっていない。		0 / 5
(2)	敷地内通路は、車いす使用者や歩行者のすれ違いに支障のない幅が確保されている。		
(3)	障害者用駐車場には、車の左右両側（うしろ）に乗降用スペースを設けている。		
(4)	障害者用駐車場から建築物の出入口までの通路には、庇などの屋根が設けられている。		
(5)	案内装置がある場合、位置や高さなどに配慮され、操作しやすいものとなっている。		
5	快適		
(1)	外壁の素材や色使いは、周囲の景観に配慮し、また植栽等も設置するなど心地よい空間となっている。		0 / 3
(2)	案内表示は、だれもが分かりやすいよう、文字の大きさや色使い、配置等にも配慮されている。		
(3)	障害者用駐車場は、建築物の出入口にできるだけ近く、車路を横断しなくても行き着くことができる。		
			0 / 18

施設管理者が記入

ユニバーサルデザインの状況調査

〇〇〇〇センター ◇◇◇棟

Ⅱ 出入口

番号	調査項目	チェック	適合状況
1	公平		
(1)	個別ニーズに対応できるよう、人を配置した受付が設けられている。又は、建築物の出入口付近は、出入口の場所を示す音声装置や点字表示などを合わせた案内板等が設けられている。		0 / 3
(2)	案内板は、子どもや車いす使用者も見やすいような、位置や高さに設置されている。		
(3)	視覚障害者誘導用ブロックが敷設されており、視覚障害者が、人を配置した受付や案内板に到達できる。		
2	簡単		
(1)	出入口の扉は、開閉しやすい構造である自動引き戸が設置されている。		0 / 4
(2)	建築物の主要な出入口は、訪れた人がわかりやすい位置に設けられている。		
(3)	チャイムやインターホン等は、その所在が分かりやすく、かつ、操作しやすい。		
(4)	手動引き戸などの取手は、誰もが使いやすい縦棒状等となっている。		
3	安全	施設管理者が記入	
(1)	自動引き戸には、安全センサーが設置されている。		0 / 3
(2)	自動引き戸には、非常時の対応のため、手動式の戸が併設されている。		
(3)	出入口のガラス戸には、衝突防止シール等の対策が講じられている。		
4	機能		
(1)	車いす使用者や歩行者のすれ違いに支障のない幅が確保されている。		0 / 3
(2)	特に建築物の主要な出入口は、余裕を持った幅となっている。		
(3)	手動引き戸は、取手の位置や形状に配慮されており、操作しやすい。		
5	快適		
(1)	建築物の出入口付近に設けられている案内板等は、文字の大きさや配色、背景の色との対比等に配慮されており、見やすくわかりやすいデザインである。		0 / 1
			0 / 14

ユニバーサルデザインの状況調査

〇〇〇〇センター ◇◇◇棟

Ⅲ 廊下等・階段・エレベーター

番号	調査項目	チェック	適合状況
1	公平		
(1)	廊下には段差がない。構造上段差がある場合は、段のある近くに、傾斜路や昇降機の設置がされている。		0 / 3
(2)	誰もが利用できるエレベーターが1以上設置されている。		
(3)	視覚障害者誘導ブロックは、乗降ボタンや触地図まで適切に敷設されている。		
2	簡単		
(1)	わかりやすい案内板等が適切に設けられており、目的となる部屋等に適切に誘導できる。		0 / 2
(2)	廊下の配置は、単純でわかりやすい。		
3	安全		
(1)	廊下や階段の両側に連続して、手すりが設置されている。		0 / 6
(2)	廊下等の床は滑りにくい仕上げであり、段には滑り止め等が設置されている。		
(3)	段や勾配の部分では、容易に段等が認識できるように、色・明度・仕上げ等の差に配慮されている。また、照明は安全に通行できるような明るさが確保されている。		
(4)	階段や傾斜路には、落下防止のための立ち上がり（両側）が設置されている。		
(5)	階段や傾斜路などに視覚障害者誘導ブロック（警告用）が適切に敷設されている。		
(6)	（防火戸が設置されている場合）分かりやすい位置に配置されており、車いす使用者等の通行が可能な構造となっている。		
4	機能	施設管理者が記入	
(1)	廊下や階段の幅は、歩行者同士がすれ違いやすい幅が確保されている。		0 / 6
(2)	廊下や階段の手すりは、利用者が使いやすいよう、2段設置されている。		
(3)	廊下、乗降口ビー、エレベーターのかご内など、車いす使用者が回転することができる空間が確保されている。		
(4)	エレベーター乗降口ビー及びかご内には、誰もが操作しやすい位置に操作ボタン等が設置されている。		
(5)	エレベーターのボタンは、ボタン操作時に音声と光で反応する等、ボタン操作への応答が視覚と聴覚でわかる。		
(6)	同一建築物内のエレベーターの操作盤等のボタンの配置は、統一されている。		
5	快適		
(1)	エレベーターは、主要な出入口から誰もが容易に確認できる位置に設置されている。		0 / 3
(2)	乗降口ビーの扉は、周囲の壁と異なる色となっている等、識別しやすい。		
(3)	建築物の用途や規模に応じて適切な大きさのエレベーターが複数設置されているなど、車いすやベビーカーを使用する人も含め、誰もが短い待ち時間で利用できる。		
			0 / 20

ユニバーサルデザインの状況調査

〇〇〇〇センター ◇◇◇棟

IV トイレ

番号	調査項目	チェック	適合状況
1	公平		
(1)	だれもが利用できるトイレ（だれでもトイレ）が設けられている（車いす使用者、オストメイト、乳幼児を連れた人等）。		0 / 5
(2)	トイレ内の通路幅や便房の出入口の幅は、車いす使用者が利用しやすいよう、余裕を持った幅が確保されている。		
(3)	オムツ交換や衣服の着脱などのため、大人が横になることができる大きなシートが設けられている。		
(4)	小便器は、子どもから大人まで利用できるように、床置き又は低リップタイプが設けられている。		
(5)	だれでもトイレと、それ以外のトイレは近接して配置している。		
2	簡単		
(1)	利用者がわかりやすい位置に設けられており、案内板等も適切に配置されている。		0 / 3
(2)	出入口には、だれもが利用できる旨を示したわかりやすい標識や、便房内の設備が表示されている。		
(3)	トイレの出入口位置を知らせるための視覚障害者誘導用ブロックが適切に配置されており、音声や点字により男女別位置等を案内できる。		
3	安全		
(1)	出入口の開閉時に、手や衣服などが戸に挟まれたり、戸と戸袋の隙間に挟まることがないような工夫がされている。 ・戸と枠に接する面積を小さくするために戸の縁を丸くするなどの工夫 ・衝撃を和らげるため、ゴムなどの緩衝材を設けるなどの工夫 ・戸と戸袋の隙間に柔らかい材料を設置することで、指や衣服が引き込まれるのを防ぐ工夫	施設管理者が記入	1
4	機能		
(1)	便房の戸は、取手を握りやすく、また、施錠操作がしやすい。		0 / 4
(2)	洗浄ボタンや紙巻器などは、便座に移乗せずに利用する車いす使用者にも考慮した位置に設置されている。		
(3)	同一建築物内のトイレは、男女別配置や、洗浄ボタン、紙巻器等の位置や操作方法が統一されており、同じ配置・同じ部品となっている。		
(4)	設備は操作がしやすい。		
5	快適		
(1)	清潔感のある色彩となっており、心地よい空間となっている。		0 / 3
(2)	だれもが心地よく利用できるよう、鏡の配置や設置方法が配慮されている。		
(3)	壁面・床面を清潔に保つため、こまめな清掃・維持管理がされている。		
			0 / 16

ユニバーサルデザインの状況調査

〇〇〇〇センター ◇◇◇棟

Ⅴ その他（子育て支援環境）

番号	調査項目	チェック	適合状況
1	公平		
(1)	授乳及びおむつ替えのできる場所は、男女にかかわらず利用できる。		0 / 3
(2)	母乳による授乳のためのスペースは、間仕切り壁等で仕切るなど、視線を遮る工夫がされている。		
(3)	イベント会場などでは、利用者のニーズに応じ子育て支援環境を整えている。		
2	簡単		
(1)	授乳及びおむつ替えのできる場所の位置は、建築物の案内板に表示されている。		0 / 3
(2)	授乳及びおむつ替えのできる場所は、乳幼児を連れた人が利用しやすい位置に設置されている。		
(3)	ベビーチェアやベビーベッドなどを設けたトイレの出入口には、その旨がわかりやすく表示されている。		
3	安全		
(1)	便房内では、保護者が乳幼児から目を離さずに利用できるよう、保護者と対面した位置にベビーチェアが設置されてる。		0 / 2
(2)	便房内のベビーチェアは、乳幼児がドアロックを開けないようドアから離れた位置に設置されている。		
4	機能		
(1)	授乳及びおむつ替えのできる場所には、お湯を供給できるシンクや、哺乳ビンの消毒ができる設備が設置されている。		0 / 3
(2)	授乳及びおむつ替えのできる場所には、おむつ替えのためのベビーベッドが設置されており、また、おむつを捨てるためのごみ箱が設置されている。		
(3)	トイレ内に、おむつ替えができるようなベビーベッドが設置されており、また、荷物台が設置されている。		
5	快適		
(1)	授乳及びおむつ替えのできる場所は、入口がオープンとなっており、ベビーカーや車いすの使用者の出入りが十分な幅となっている。		0 / 2
(2)	相談等の受付カウンターや申込記入台の横には、ベビーチェアが設置されている。		
			0 / 13

施設管理者が記入

○ 自由記入欄

施設管理者が記入

※ 調査建築物独自の特徴や、施設に必要なユニバーサルデザイン整備の内容等、自由に記入してください。

ユニバーサルデザインの状況調査

〇〇〇〇センター ◆◆◆棟

★特記事項

[illegible]

(注意)

- ① このチェックリストは、特殊建築物等ごとに作成してください。
- ② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入してください。
- ③ 調査項目について、基準に適合している場合は「○」、一部適合している場合は「△」、不適合の場合は「×」をチェック欄に記入してください。
- ④ 該当しない調査項目がある場合は、当該項目のチェック欄に「－」を記入してください。
- ⑤ 特記事項は、調査の結果、基準を満たしていない項目がある場合や、基準を満たしている場合であっても、特記すべき事項がある場合に、該当する調査項目の番号、調査項目を記入し、「指摘の具体的内容」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的内容を記入するとともに、「改善策の具体的内容等」欄にその内容を記入し、「改修難易度（評価）」欄にA～Dの4段階で評価し、その評価内容を記入してください。

※ 改修難易度（評価）について
以下の基準で評価する。

評 価	基 準 (参考)
A	部分的かつ仕上材等の撤去・復旧を伴う改修 又は ソフト対応で解消可能 又は 小規模工事 (130万円以下) 等
B	部分的かつ下地材等の撤去・復旧を伴う改修 又は 改修費用 (130超~500万円) が見込まれる 等
C	広範囲に改修 又は 部分的かつ構造躯体等に影響 又は 多額の改修費用 (500超~1,000万円) が見込まれる 等
D	物理的に改修不能 又は 多額の改修費用 (1,000万円超) が見込まれる 等